

# Oh!Me

インターネットと連動した  
【滋賀生活情報紙】



4面に  
プレゼント情報!

この情報紙は「滋賀ガイド」と提携しています

滋賀ガイド [www.gaido.jp](http://www.gaido.jp)

vol.53・12月23日・30日号 次号は1/6に発行します 毎週木曜発行

●Oh!Me編集室/株式会社ヤマブラ:近江八幡市桜宮町289 TEL0748-34-8870  
●広告/滋賀毎日広告社:大津市打出浜3-16 TEL077-522-2603  
●発行/毎日新聞大阪本社販売促進部:大阪市北区梅田3-4-5 発行部数:100,000部



## 意思を込めた 力強い演奏で 12月25日、 第九のピアノソロの 舞台に

(KEIBUN第九 2004)

Tomoko  
Narata

素敵なお人!

ピアニスト

奈良田 朋子さん(34歳)



今回の素敵なお人は、12月25日(土)にびわ湖ホールで行われる「KEIBUN第九2004」でベートーヴェンの「合唱幻想曲」のピアノソリストを務める、大津市在住のピアニスト奈良田朋子さん(34歳)。

### 独特の力強い演奏が魅力

奈良田さんは、膳所高校を経て1993年に京都市立芸術大学を卒業。その後パリに留学、世界的なコンクール

で数々の賞を取った。2000年に帰国してからは、武庫川女子大学専任講師として後進を育てながら、演奏家としての活動を続ける。奈良田さんの演奏は、その力強さが大きな魅力。恩師との出会いや数々の転機が、今の彼女の独特の力強い演奏をつくりあげてきた。中学1年の時に滋賀県ピアノコンクールで2位(1位なし)になるなど、早くからその才能を認められてきた。一番の転機は、京都市立芸術大学での、田隅靖子先生との出会い。それまで「先生に教えられた通りに弾く

ことが良い」と思っていた奈良田さんは、自らが考え、自らの意思で弾くことを教えられた。その後、留学を勧められパリへ。94年にはマリア・カナルス国際コンクールでメダル受賞、95年の40回ラフマニノフ国際ピアノコンクールで第2位受賞など、数々のコンクールで好成績を残す。そして観客席からの盛大な拍手に、「私の演奏がこんなにも喜んでもらえる」と、ピアノを弾く楽しみをあらためて発見した。



▲「40回ラフマニノフ国際ピアノコンクール」にて関係者、他の受賞者と共に(1995年)

### 琵琶湖に癒される心

奈良田さんは、中学・高校時代を瀬田川近くの美しい風景の中で育った。しかし学生のうちは勉強とピアノの練習で忙しく、景色を楽しむ余裕がなかった。「帰国後、改めてその美しさを感じ、穏やかな気持ちになれました」とのこと。特にびわ湖ホールから眺める琵琶湖の風景が大好きで、疲れが癒されるそう。



### 初心者の人にもクラシックに親しんで欲しい

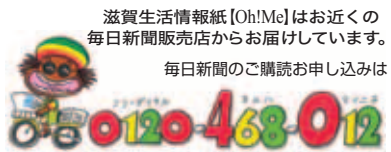
今後は1~2年に1度くらい、テーマを決めてソロリサイタルを行うのが目標。また、「ホールや主催者の協力を得て、手頃な料金でコンサートを開き、多くの方に聴いていただきたい」という夢も持つ。「敷居が高いと思われがちクラシックですが、雰囲気を楽しむつもりで気軽に来て欲しい。初めての方にもきっと良さが伝わると思います。これからもピアニストとして、1人の人間として成長し続けたい」という奈良田さん。爽やかな笑顔とともに、率直で前向きな言葉が印象的だった。感情のこもった力強い演奏は、彼女そのものを表しているのかもしれない。今後のますますのご活躍を期待したい。(取材・川上)



### 12/25(土) KEIBUN第九 2004

しがぎん経済文化センター創立20周年記念  
●びわ湖ホール 大ホール ●開演:17:00(16:15開場)  
●料金: S席6,000円 A席5,000円 B席4,000円 C席3,000円  
●お問合せ:しがぎん経済文化センター/077-526-0005

くわしくはこちらから [gaido.jp/0341](http://gaido.jp/0341)



●交通のご案内  
JR琵琶湖線「大津駅」下車バス10分、  
JR湖西線「西大津駅」下車南へ徒歩(1.8km)15分、  
京阪電車石坂線「三井寺駅」下車西へ徒歩(0.7km)5分



当日申し込み可  
●鐘つきご希望の方...  
当日、夜10時30分観音堂前参集  
●幸運が授かる福矢・目玉餅など授与  
●冥加料 2,000円

西国第14番札所 **総本山 三井寺**

滋賀県大津市園城寺町246 TEL.077-522-2238  
<http://shiga-miidera.or.jp>



# 除夜の鐘

12月31日

幸運を呼ぶ

琵琶湖の龍神の守護を受けられる三井寺の梵鐘  
三井の晩鐘を撞いて、心新たに申年の2005年を迎えましょう。



▲梵鐘(三井の晩鐘)